

## 平成28年度 学校評価のまとめ

練馬区立開進第一小学校長 石神 徹

12月に児童・保護者・地域の方々・教職員による学校評価（自己評価）を行い、その結果を基に次年度の方針・取り組みをまとめましたので、ご報告いたします。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

### < 1 自己評価 >

#### < 成 果 >

- ・保護者・地域からは、学校の意欲的な取組下記評価項目③、地域・保護者との連携⑨⑩において、高い数値が見られた。各行事、授業公開等においては、保護者・地域によるアンケートを実施し、9割が肯定的に記述していることから、各行事や公開日における児童の学習の様子を積極的に公開する成果について理解されていることが伺える。
- ・児童からの評価においては、評価項目⑪「体を動かす遊びや運動を進んでしているか」について、昨年度に比べ、5ポイント以上上回っていることから、健康や体力増進に意識の向上と、児童同士のコミュニケーションの高まりが見られていると考える。
- ・教職員は、教育活動や指導の工夫③「意欲的な教育活動」⑤「集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付く指導」⑥「健康や安全に関する適切な指導」⑩「教育方針や教育活動を学校便りや学年便り等で地域・保護者にわかりやすく伝えている。」について、高い自己評価をしている。

#### < 課 題 >

- ・保護者による評価も、教職員の評価も、教員の指導について、評価項目⑧「算数習熟度別学習が、児童の意欲につながる（3年～5年の保護者）」項目についてポイントが低い。習熟度別指導が始まって2年目であるが、意欲の向上、学習内容の定着につながっていない現状がある。今後も、各単元のレディネステスト（学習前の理解度テスト）と単元終了後の評価テストを比較検討すること、また、単言ごと、また、毎時間ごとの振り返りを行い、児童の能力の定着、達成度の向上に努めていく。「連絡・相談に適切に対応している」⑩に対して、保護者の数値が低い。各担任との連絡帳や電話による連絡、また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員を中心とした教育相談体制をさらに機能、向上させ、連携を図り、解決していく。
- ・児童による評価項目⑦「自分の考えを進んで発表する」について、ポイントが低い。（H25＝2.90、H26・27・28＝3.05）どの教科、領域の学習においても、1時間ごとの学習で自分の考えがもてるようにする活動、発表した際に友達の考えを受け止める学級づくりに、今後も取組を継続していく。
- ・算数習熟度別学習に対して、児童⑫も数値が低い。今後定着させ改善していく。
- ・地域の方による評価、教員の指導について評価項目④⑤⑥⑦と地域・保護者との連携についての評価項目⑩について、分からないという回答がある。  
学校公開での指導を見ていただくとともに、学校の取組について、さらに発信していく必要がある。

○根拠となる資料

ア) 保護者、地域、教職員の評価結果

	【学校について】	保護者	地域	教職員
①	学校の教室や廊下、特別教室などの環境整備が行き届いている。	3.41	3.50	3.43
②	学校では校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	3.44	3.67	3.43
③	学校は、子供たちのために意欲的に教育活動に取り組んでいる。	3.50	4.00	3.75

	【教員の指導について】	保護者	地域	教職員
④	授業をわかりやすく工夫して教えている。	3.42	3.50	3.36
⑤	集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	3.40	3.81	3.71
⑥	子供の健康や安全に関する指導が適切に行われている。	3.43	3.80	3.75
⑦	子供は、充実した学校生活を過ごし、学校が楽しいと感じている。	3.36	4.00	3.68
⑧	(3～5年の保護者・担任が回答) 算数習熟度別学習は、子供に適した内容・進度のため、子供が意欲的に取り組みやすい。 ※算数習熟度別学習を、今年度より3～5年生で始めました。	3.27	—	3.00

	【地域・保護者との連携について】	保護者	地域	教職員
⑨	学校は、各行事や公開日、参加型授業を通じて、学校を公開するために努力をしている。	3.63	3.83	3.61
⑩	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年だより等で地域・保護者にわかりやすく伝えている。	3.52	3.83	3.71
⑪	学校は、子供についての連絡・相談に適切に対応している。	3.23	3.75	3.61

イ) 児童による評価結果

	評価項目	昨年度	今年度
①	学校は楽しいですか。	3.50	3.46
②	授業は、わかりやすいですか。	3.50	3.49
③	先生は、よいところをみつけてほめてくれますか。	3.36	3.36
④	先生は、いけないところをきちんと注意してくれますか。	3.72	3.66
⑤	学校には、こまったときに相談できる先生がいますか。	3.59	3.53
⑥	学校のきまりや約束を守っていますか。	3.43	3.39
⑦	自分の意見や考えを、進んで発表していますか。	3.05	3.05
⑧	自分からともだちや先生に進んであいさつしていますか。	3.57	3.53

⑨	友だちやまわりの人に、親切にしていますか。	3.47	3.47
⑩	自分から進んで読書をしていますか。	3.46	3.42
⑪	体を動かす遊びや運動を進んでいますか。	3.47	3.52
⑫	(3～5年生が回答)算数の学習は、習熟度別で勉強しやすいですか。	3.28	3.28

※ 表中の数値について

A：あてはまる（4点） B：ややあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点）  
D：まったくあてはまらない（1点） E：わからない（点なし） として総合点を出し、  
総合点÷（総数－Eの数）を計算して平均値とした。

※ 調査期間及び集計総数（回収率）

保護者アンケート	平成28年12月10日～12月15日	431枚(69.2%)	(前年度85.8%)
学校評議員アンケート	平成29年1月10日～1月14日	6枚(20%)	(前年度23.1%)
教職員アンケート	平成29年1月10日～1月11日	28枚(100%)	(前年度100%)
児童アンケート	平成26年12月10日～12月15日	616枚(98.8%)	(前年度95.5%)

## < 2 学校関係者評価 >

### (1) 成果

- ・学校評価では保護者と教職員との数値に近い項目が多く、両者の意識が近いことがうかがえる。
- ・児童の授業態度が落ち着いている。書き初めの字も整っており、学校全体が落ち着いて教育活動が行われている。
- ・学校は児童や教育活動の実態を公開する意識が高い。
- ・休み時間に先生方が子供と一緒に遊び、一生懸命関わってくれていることがわかる。保護者は、「今の開一小の状態が当たり前」と思うので、学校に対する期待がますます高まるのだろう。
- ・児童に発表する力をつけてくれてうれしい。さらに伸ばしてほしい。

### (2) 課題

- ・平成 29 年度から、特別支援教室が開設される。支援を受けたいと考える保護者の期待は大きいので、28 年度の準備をしっかりと進めてもらいたい。
- ・学力調査の結果、例年より基礎に関する内容の数値が落ちている。応用に関する内容は良いので、基礎学力を定着させてほしい。

### (3) 改善策

- ・練馬区では 28 年度から 30 年度の 3 年間で、特別支援教室を全校に開設する予定である。28 年度に開設する学校から情報を得るとともに、校内の児童の実態を確実に見取れるように研修も深め、準備を進めていく。
- ・今年度の学力調査結果をもとに改訂した授業改善プランを確実に実施して、基礎学力の向上を図っていく。特に算数では、今年度初めて実施した 3～5 年生の習熟度別学習と 1・2 年生の TT 指導の効果を高められるよう、工夫改善していく。

## < 3 次年度の学校改善に向けた見解 >

- ・500 名を超す保護者・地域の方々が参観する中、「伸びゆく開一の子発表会」を 1 月 23 日に開催した。「生きる力の育成～知・徳・体の充実～」を研究主題とした 3 年間の教育研究活動に対し、児童の成長や教職員の意欲を認めるよい評価をたくさん頂いた。こらが学校評価の好調につながっていると考える。内容はさらに工夫改善し、次年度も「伸びゆく開一の子発表会」を実施し、保護者・地域に学校の教育活動を発信していく。
- ・いわゆる「見える学力」基礎学力の定着に向け、授業改善プラン・習熟度別学習・TT 指導等を進める。「見えにくい学力」と言われる学習への関心意欲や、関わりながら学ぶ楽しさを実感することなどに関しては、校内研究を通して研究を深めてきた。両方の学力を教師が意識し相互に組み合わせながら、わかる授業を実践していく。
- ・児童が安心して充実した学校生活を送れるようにすることが、学校の使命である。そのために、アンケート・聞き取り・面談などの様々な方法で、いじめや児童の心の問題などを毎月くみ取っていく。また、特別支援コーディネーターを中心として組織的に対応し、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員及び関係諸機関と連携し、迅速な解決を目指す。特に、「いじめや体罰は絶対に許さない」という強い意志で取り組む。
- ・今後もアンケートや保護者会等での聞き取りから得られた意見などを真摯に受け止め、保護者・地域からの学校に対する期待に応えていく。また、学校だよりやホームページ等で日々の教育活動の様子を発信していく。いじめ、不登校等の教育課題に対しては、関係機関と連携し、迅速な解決を目指す。